

お台場旧防波堤（2島）における鳥類のモニタリング調査 冬季調査（2月）報告書

令和2年3月 一般社団法人お台場海づくり協議会

1. 調査目的

お台場海浜公園内旧防波堤における鳥類の生息環境の保全について検討するために、当地における鳥類の利用状況の現況を把握するとともに、今後の経年変化を把握するための基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査対象地域

お台場海浜公園内旧防波堤2島及び周辺水域（周辺50m程度）

3. 調査期日等

調査期日等を表1に示す。

表1 調査期日等

調査期日	調査時間	天候
令和2年2月26日（火）	8:00~14:00	曇り時々小雨

4. 調査方法

各調査項目において、倍率8~10倍程度の双眼鏡や倍率20~60倍程度の望遠鏡などを必要に応じて使い分けながら調査を実施した。また、上陸後に実施する（2）~（4）の調査については、調査精度と定量性を確保するため、2島に調査員を1名ずつ配置し、2島同時に実施した。

（1）船上センサス

旧防波堤の2島の50m程度沖を船舶により定速で周回しながら、旧防波堤及び周辺を観察し、目視または鳴き声などで確認された鳥類の種名、個体数、行動などを記録した。

（2）ラインセンサス

各島の岸沿いを縦断するセンサスルートを設定し、時速1~2km程度の速度で歩きながら目視または鳴き声などで確認された鳥類の種名、個体数、行動などを記録した。センサスルートは各島に1本を設定し、観察範囲は片側50m（両側100m）とした。

(3) 定点観察調査

2島の各2点に眺望の卓越した定点を設定し、目視または鳴き声などで確認された鳥類の種名、個体数、行動などを記録した。観察半径は50m程度、調査時間は各30分間とした。

(4) 任意観察調査

旧防波堤の2島を任意に踏査し、目視または鳴き声などで確認された鳥類の種名、個体数、行動などを記録した。



写真 1 各調査手法における調査風景



図 1 調査地点図

5. 調査結果

(1) 現地調査結果

- 現地調査の結果、9目20科33種が確認された(表2)。
- 確認種の多くは水域やその周辺に生息する鳥類であり、オカヨシガモやハジロカイツブリ、セグロカモメなど18種が確認された。島内の樹木やその周辺では、ヒヨドリやウグイス、カワラヒワなど森林やその周辺に生息する鳥類が確認された。護岸周辺では、草地に生息する種としてタヒバリが確認された。そのほか、猛禽類であるハイタカやノスリ、都市部でも見られるムクドリやスズメなどが確認された。
- 渡り区分別にみると、カウウやハシブトガラスなどの留鳥(ある地域で一年中見られる鳥)が最も多く、そのほかオナガガモやスズガモ、ノスリ、ツグミ、ジョウビタキ、アオジなどの冬鳥(ある地域で冬季に見られる鳥)も確認された。
- 重要種はスズガモ、ウミアイサ、カンムリカイツブリ、オオバン、イソシギ、ハイタカ、ノスリ及びイソヒヨドリの合計8種が確認された(表2)。島内では、砂浜で休

息するスズガモや、護岸周辺で採餌するオオバンやイソシギ、護岸にとまるイソヒヨドリが確認された。島周辺の海域では、採餌するウミアイサや、遊泳するカンムリカイツブリ、上空を通過するハイタカやノスリが確認された。

- 確認された重要種のうち、特に選定基準上の重要度が高い種としてはハイタカとノスリが挙げられる。ハイタカは環境省レッドリストでは準絶滅危惧、東京都レッドデータブックでは絶滅危惧 IB 類に、ノスリは東京都レッドデータブックで絶滅危惧 IB 類に該当する（表 2）。
- 外来種は確認されなかった（表 2）。
- 確認個体数が多かった種はスズガモ、カワウ、ヒヨドリの 3 種が挙げられる。いずれの種も船上センサス・ラインセンサス・定点観察の各調査において、個体数が多かった上位 3 種を占めた（表 3・4・5）。スズガモは、船上センサスでは 2 島で合計 125 個体が確認され、群れが島の砂浜や周辺海域を休息に利用していた。カワウは、船上センサスでは 2 島で合計 30 個体、ラインセンサスでは優占度が東島で 26%、西島で 20%、定点観察では 2 島で合計 41 個体が確認された。例年通り島内で繁殖活動を行っており、複数つがいと育雛行動が確認された。ヒヨドリは、定点観察では 2 島で合計 55 個体が確認され、後述するように島内の早咲きの桜の花を採餌する群れが観察された。

(2) 前回調査との比較

- 平成 30 年の秋季（10 月）～令和元年の夏季（7 月）までの調査を第 4 回、令和元年の秋季（10 月）以降の調査を第 5 回とし、第 4 回と第 5 回の冬季調査の結果を比較した。表 6 に確認種の比較、表 7～9 は手法別に、表 7 に船上センサス結果、表 8 にラインセンサス結果、表 9 に定点観察結果の比較をそれぞれ示した。また、表 10 に平成 27 年の夏季以降の全調査回における確認種目録を示した。
- 確認種数は、第 4 回では東島で 25 種、西島で 21 種、合計 29 種であり、第 5 回では東島で 29 種、西島で 24 種、合計 33 種であった。第 5 回の確認種のうち、約 9 割は第 4 回でも確認されており、鳥類相に大きな変化はなかった（表 6）。
- 通算の総確認種数は 71 種であった（表 10）。
- ラインセンサス及び定点観察の結果から、ヒヨドリの個体数が第 4 回より増加した（表 8・9）。第 5 回では、ヒヨドリの多くは島内を行き来しつつ、早咲き品種である大漁桜に群がって吸蜜していた（写真 2 (2)）。お台場海づくり協議会の経過観察・作業記録によると、大漁桜は 2019 年 2 月 26 日では「2 分咲き程度」であったが、2020 年 2 月 25 日では「満開過ぎ」と報告されており、今年は花期が早まっていた。開花した大漁桜にヒヨドリが誘引されたことが、個体数増加の一因と推測される。

(3) その他

- 冬季調査は従来1月に実施してきたが、今回は悪天候により2月に延期した。また、調査前日には島内で大漁桜やエノキの植栽などの作業が行われ、人の立ち入りや高茎草地の部分的刈り取りがあった。

表 2 鳥類確認種目録

No.	目名	科名	種名	調査時期		重要種選定基準			
				冬季(2月)		①	②	③	④
				東島	西島				
1	カモ	カモ	オカヨシガモ	○					
2			ヒドリガモ	○					
3			カルガモ	○	○				
4			オナガガモ	○					
5			ホシハジロ	○					
6			スズガモ	○	○				留意
7			ウミアイサ	○					DD
8	カイツブリ	カイツブリ	カンムリカイツブリ	○	○				留意
9			ハジロカイツブリ	○	○				
10	ハト	ハト	キジバト		○				
11	カツオドリ	ウ	カワウ	○	○				
12	ペリカン	サギ	アオサギ	○	○				
13	ツル	クイナ	オオバン	○	○				VU
14	チドリ	シギ	イソシギ	○	○				VU
15		カモメ	ユリカモメ	○	○				
16			ウミネコ		○				
17			セグロカモメ	○	○				
18	タカ	タカ	ハイタカ	○				NT	EN
19			ノスリ	○					EN
20	スズメ	カラス	ハシブトガラス	○	○				
21		シジュウカラ	シジュウカラ	○	○				
22		ヒヨドリ	ヒヨドリ	○	○				
23		ウグイス	ウグイス	○	○				
24		メジロ	メジロ	○	○				
25		ムクドリ	ムクドリ	○	○				
26		ヒタキ	ツグミ	○	○				
27			ジョウビタキ	○	○				
28			イソヒヨドリ		○				DD
29		スズメ	スズメ	○					
30		セキレイ	ハウセキレイ	○	○				
31			タヒバリ		○				
32		アトリ	カワラヒワ	○					
33	ホオジロ	アオジ	○	○					
合計	9 目	20 科	33 種	29 種	24 種	0 種	0 種	1 種	8 種

注 1. 分類、配列などは原則として「日本鳥類目録 改訂第 7 版」(平成 24 年、日本鳥学会)に準拠した。

注 2. 重要種選定基準は以下の通りである。

①文化財保護法(昭和 25 年、法律第 214 号)

天:天然記念物 特:特別天然記念物

②「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成 4 年、法律第 75 号;平成 23 年改訂)

国内:国内希少野生動植物 国際:国際希少野生動植物

③「環境省レッドリスト 2019 の公表について」(平成 31 年、環境省)における掲載種

EX:絶滅 EW:野生絶滅 CR:絶滅危惧 IA 類 EN:絶滅危惧 IB 類 VU:絶滅危惧 II 類

NT:準絶滅危惧 DD:情報不足 LP:絶滅のおそれのある地域個体群

④「レッドデータブック東京 2013～東京都の保護上重要な野生生物種(本土部解説版)～」(平成 25 年、東京都)における区部の掲載種

EX:絶滅 EW:野生絶滅 CR:絶滅危惧 IA 類 EN:絶滅危惧 IB 類 VU:絶滅危惧 II 類

NT:準絶滅危惧 DD:情報不足 留意:留意種

表 3 船上センサス結果

No.	目名	科名	種名	調査時期		合計 個体数
				冬季(2月)		
				東島	西島	
1	カモ	カモ	ヒドリガモ	2	0	2
2			カルガモ	3	0	3
3			ホシハジロ	1	0	1
4			スズガモ	120	5	125
5	カイツブリ	カイツブリ	カンムリカイツブリ	1	3	4
6			ハジロカイツブリ	0	3	3
7	ハト	ハト	キジバト	0	1	1
8	カツオドリ	ウ	カワウ	15	15	30
9	ツル	クイナ	オオバン	3	1	4
10	チドリ	シギ	イソシギ	1	0	1
11		カモメ	ユリカモメ	0	1	1
12			セグロカモメ	0	1	1
13	スズメ	カラス	ハシブトガラス	3	6	9
14		シジュウカラ	シジュウカラ	0	1	1
15		ヒヨドリ	ヒヨドリ	7	3	10
16		ヒタキ	ツグミ	1	0	1
17		セキレイ	ハクセキレイ	2	1	3
18			タヒバリ	0	1	1
合計	7 目	12 科	18 種	159	42	201
				12 種	13 種	18 種

注 1. 分類、配列などは原則として「日本鳥類目録 改訂第 7 版」(平成 24 年、日本鳥学会)に準拠した。

表 4 ラインセンサス結果

No.	目名	科名	種名	調査時期				合計 個体数
				冬季(2月)				
				L1(東島)		L2(西島)		
				個体数	優占度	個体数	優占度	
1	カモ	カモ	カルガモ	0	0%	6	5%	6
2			スズガモ	0	0%	53	40%	53
3	カイツブリ	カイツブリ	カンムリカイツブリ	0	0%	2	2%	2
4	ハト	ハト	キジバト	0	0%	1	1%	1
5	カツオドリ	ウ	カワウ	11	26%	26	20%	37
6	ペリカン	サギ	アオサギ	2	5%	1	1%	3
7	ツル	クイナ	オオバン	0	0%	3	2%	3
8	チドリ	シギ	イソシギ	1	2%	1	1%	2
9		カモメ	ユリカモメ	0	0%	5	4%	5
10		セグロカモメ	セグロカモメ	0	0%	1	1%	1
11	タカ	タカ	ノスリ	1	2%	0	0%	1
12	スズメ	カラス	ハシブトガラス	5	12%	2	2%	7
13		シジュウカラ	シジュウカラ	1	2%	2	2%	3
14		ヒヨドリ	ヒヨドリ	5	12%	27	20%	32
15		ウグイス	ウグイス	1	2%	0	0%	1
16		メジロ	メジロ	1	2%	0	0%	1
17		ムクドリ	ムクドリ	6	14%	0	0%	6
18		ヒタキ	ツグミ	2	5%	0	0%	2
19			イソヒヨドリ	0	0%	1	1%	1
20		スズメ	スズメ	4	10%	0	0%	4
21		セキレイ	ハクセキレイ	0	0%	1	1%	1
22	ホオジロ	アオジ	2	5%	1	1%	3	
合計	9 目	19 科	22 種	42	100%	133	100%	175
				13 種		16 種		22 種

注 1. 分類、配列などは原則として「日本鳥類目録 改訂第 7 版」(平成 24 年、日本鳥学会)に準拠した。

表 5 定点観察結果

No.	目名	科名	種名	調査時期				合計 個体数
				冬季（2月）				
				東島		西島		
				P1	P2	P3	P4	
1	カモ	カモ	ヒドリガモ	0	2	0	0	2
2			カルガモ	0	7	0	0	7
3			オナガガモ	0	1	0	0	1
4			ホシハジロ	1	0	0	0	1
5			スズガモ	0	6	4	42	52
6			ウミアイサ	0	2	0	0	2
7	カイツブリ	カイツブリ	カンムリカイツブリ	0	1	2	1	4
8			ハジロカイツブリ	0	3	3	0	6
9	ハト	ハト	キジバト	0	0	1	1	2
10	カツオドリ	ウ	カワウ	17	1	13	10	41
11	ツル	クイナ	オオバン	0	0	0	3	3
12	チドリ	シギ	イソシギ	0	2	0	1	3
13		カモメ	ユリカモメ	0	1	4	3	8
14		セグロカモメ	1	0	1	0	2	
15	スズメ	カラス	ハシブトガラス	2	0	0	0	2
16		シジュウカラ	シジュウカラ	0	1	2	0	3
17		ヒヨドリ	ヒヨドリ	2	22	30	1	55
18		ムクドリ	ムクドリ	0	0	3	0	3
19		ヒタキ	イソヒヨドリ	0	0	0	1	1
20		セキレイ	ハクセキレイ	1	8	3	2	14
21		ホオジロ	アオジ	0	0	1	0	1
合計	7目	14科	21種	24	57	67	65	213
				6種	13種	12種	10種	21種

注 1. 分類、配列などは原則として「日本鳥類目録 改訂第 7 版」(平成 24 年、日本鳥学会)に準拠した。

表 6 前回調査結果との比較（冬季）

No.	種名	調査時期			
		冬季(1月)		冬季(2月)	
		第4回 (H30~H31/R1)		第5回 (R1~R2)	
		東島	西島	東島	西島
1	オカヨシガモ		○	○	
2	ヒドリガモ			○	
3	マガモ		○		
4	カルガモ	○	○	○	○
5	オナガガモ			○	
6	ホシハジロ	○		○	
7	スズガモ	○	○	○	○
8	ウミアイサ	○	○	○	
9	カンムリカイツブリ	○	○	○	○
10	ハジロカイツブリ		○	○	○
11	キジバト	○	○		○
12	カワウ	○	○	○	○
13	アオサギ	○	○	○	○
14	オオバン	○	○	○	○
15	イソシギ	○	○	○	○
16	ユリカモメ	○	○	○	○
17	ウミネコ				○
18	セグロカモメ	○	○	○	○
19	ハイタカ			○	
20	ノスリ	○		○	
21	ハヤブサ	○			
22	ハシブトガラス	○	○	○	○
23	シジュウカラ	○	○	○	○
24	ヒヨドリ	○	○	○	○
25	ウグイス	○		○	○
26	メジロ	○	○	○	○
27	ムクドリ			○	○
28	ツグミ	○	○	○	○
29	ジョウビタキ	○		○	○
30	イソヒヨドリ		○		○
31	スズメ			○	
32	ハクセキレイ	○	○	○	○
33	タヒバリ				○
34	カワラヒワ	○		○	
35	シメ	○			
36	アオジ	○		○	○
合計	36 種	25 種	21 種	29 種	24 種
		29 種		33 種	

表 7 前回調査との比較：船上センサス結果（冬季）

No.	種名	調査時期			
		冬季(1月)		冬季(2月)	
		第4回 (H30~ H31/R1)		第5回 (R1~R2)	
		東島	西島	東島	西島
1	オカヨシガモ	0	2	0	0
2	ヒドリガモ	0	0	2	0
3	マガモ	0	2	0	0
4	カルガモ	0	0	3	0
5	ホシハジロ	1	0	1	0
6	スズガモ	11	147	120	5
7	ウミアイサ	2	0	0	0
8	カンムリカイツブリ	0	1	1	3
9	ハジロカイツブリ	0	1	0	3
10	キジバト	1	1	0	1
11	カワウ	31	61	15	15
12	アオサギ	2	2	0	0
13	オオバン	13	14	3	1
14	イソシギ	0	0	1	0
15	ユリカモメ	0	0	0	1
16	セグロカモメ	1	0	0	1
17	ハシブトガラス	3	1	3	6
18	シジュウカラ	0	1	0	1
19	ヒヨドリ	2	2	7	3
20	ツグミ	0	0	1	0
21	ハクセキレイ	0	1	2	1
22	タヒバリ	0	0	0	1
23	カワラヒワ	2	0	0	0
合計個体数		69	236	159	42
合計島別種数		11種	13種	12種	13種
合計種数		17種		18種	

表 8 前回調査との比較：ラインセンサス結果（冬季）

No.	種名	調査時期							
		冬季(1月)				冬季(2月)			
		第4回(H30~H31/R1)				第5回(R1~R2)			
		L1(東島)		L2(西島)		L1(東島)		L2(西島)	
		個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度
1	カルガモ	0	0%	0	0%	0	0%	6	5%
2	スズガモ	0	0%	0	0%	0	0%	53	40%
3	カンムリカイツブリ	0	0%	1	1%	0	0%	2	2%
4	キジバト	0	0%	0	0%	0	0%	1	1%
5	カワウ	40	54%	50	64%	11	26%	26	20%
6	アオサギ	0	0%	0	0%	2	5%	1	1%
7	オオバン	1	1%	5	6%	0	0%	3	2%
8	イソシギ	0	0%	0	0%	1	2%	1	1%
9	ユリカモメ	9	12%	13	17%	0	0%	5	4%
10	セグロカモメ	4	5%	3	4%	0	0%	1	1%
11	ノスリ	1	1%	0	0%	1	2%	0	0%
12	ハシブトガラス	3	4%	0	0%	5	12%	2	2%
13	シジュウカラ	2	3%	1	1%	1	2%	2	2%
14	ヒヨドリ	5	7%	1	1%	5	12%	27	20%
15	ウグイス	1	1%	0	0%	1	2%	0	0%
16	メジロ	5	7%	2	3%	1	2%	0	0%
17	ムクドリ	0	0%	0	0%	6	14%	0	0%
18	ツグミ	1	1%	1	1%	2	5%	0	0%
19	ジョウビタキ	2	3%	0	0%	0	0%	0	0%
20	イソヒヨドリ	0	0%	0	0%	0	0%	1	1%
21	スズメ	0	0%	0	0%	4	10%	0	0%
22	ハクセキレイ	0	0%	1	1%	0	0%	1	1%
23	アオジ	0	0%	0	0%	2	5%	1	1%
合計	23種	74	100%	78	100%	42	100%	133	100%
		12種		10種		13種		16種	

表 9 前回調査との比較：定点観察結果（冬季）

No.	種名	調査時期															
		冬季（1月）								冬季（2月）							
		第4回（H30～H31/R1）								第5回（R1～R2）							
		東島				西島				東島				西島			
		P1		P2		P3		P4		P1		P2		P3		P4	
個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度		
1	ヒドリガモ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	2	4%	0	0%	0	0%
2	カルガモ	4	9%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	7	12%	0	0%	0	0%
3	オナガガモ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	2%	0	0%	0	0%
4	ホシハジロ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	4%	0	0%	0	0%	0	0%
5	スズガモ	1	2%	0	0%	3	10%	248	89%	0	0%	6	11%	4	6%	42	65%
6	ウミアイサ	1	2%	1	2%	1	3%	0	0%	0	0%	2	4%	0	0%	0	0%
7	カンムリカイツブリ	1	2%	0	0%	1	3%	0	0%	0	0%	1	2%	2	3%	1	2%
8	ハジロカイツブリ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	3	5%	3	4%	0	0%
9	キジバト	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	1%	1	2%
10	カワウ	12	28%	10	17%	15	48%	11	4%	17	71%	1	2%	13	19%	10	15%
11	アオサギ	0	0%	4	7%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
12	オオバン	6	14%	12	20%	2	6%	10	4%	0	0%	0	0%	0	0%	3	5%
13	イソシギ	2	5%	0	0%	0	0%	1	0%	0	0%	2	4%	0	0%	1	2%
14	ユリカモメ	0	0%	26	44%	5	16%	0	0%	0	0%	1	2%	4	6%	3	5%
15	セグロカモメ	0	0%	0	0%	0	0%	2	1%	1	4%	0	0%	1	1%	0	0%
16	ノスリ	0	0%	1	2%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
17	ハヤブサ	0	0%	1	2%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
18	ハシブトガラス	1	2%	0	0%	2	6%	3	1%	2	8%	0	0%	0	0%	0	0%
19	シジュウカラ	6	14%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	2%	2	3%	0	0%
20	ヒヨドリ	2	5%	2	3%	1	3%	1	0%	2	8%	22	39%	30	45%	1	2%
21	メジロ	2	5%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
22	ムクドリ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	3	4%	0	0%
23	ジョウビタキ	0	0%	1	2%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
24	イソヒヨドリ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	2%
25	ハクセキレイ	3	7%	1	2%	1	3%	2	1%	1	4%	8	14%	3	4%	2	3%
26	カワラヒワ	2	5%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
27	アオジ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	1%	0	0%
合計	27種	43		59		31		278		24		57		67		65	
		100%		100%		100%		100%		100%		100%		100%		100%	
		13種		10種		9種		8種		6種		13種		12種		10種	

表 10 (1) 鳥類確認種目録 (第 1 回～第 5 回)

No.	種名	調査時期									
		第 1 回 (H27 夏～ H28 春)		第 2 回 (H28 秋～ H29 夏)		第 3 回 (H29 秋～ H30 夏)		第 4 回 (H30 秋～ H31/R1 夏)		第 5 回 (R1 秋～ R2 冬)	
		東島	西島	東島	西島	東島	西島	東島	西島	東島	西島
1	オカヨシガモ				○		○		○	○	
2	ヒドリガモ									○	○
3	マガモ		○	○	○		○	○	○		
4	カルガモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	オナガガモ				○	○	○			○	
6	コガモ							○			
7	ホシハジロ						○	○		○	○
8	キンクロハジロ										○
9	スズガモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	ウミアイサ		○					○	○	○	
11	カンムリカイツブリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	ミミカイツブリ			○							
13	ハジロカイツブリ	○	○	○	○				○	○	○
14	キジバト	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	カワウ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16	ゴイサギ					○					
17	ササゴイ		○								
18	アオサギ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19	ダイサギ	○	○	○	○	○	○	○	○		
20	コサギ	○	○	○	○	○	○	○	○		
21	オオバン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22	コチドリ	○	○		○	○	○				
23	タシギ								○		
24	イソシギ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
25	キョウジョシギ					○	○				
26	ユリカモメ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27	ウミネコ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
28	カモメ	○	○			○					
29	セグロカモメ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30	オオセグロカモメ	○	○	○	○	○	○				
31	コアジサシ	○	○	○	○	○	○		○		
32	ミサゴ	○		○			○		○		○
33	ハチクマ	○									
34	トビ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
35	ハイタカ		○		○					○	
36	オオタカ	○		○	○	○	○		○		
37	ノスリ		○	○	○	○		○		○	
38	カワセミ			○			○				
39	チョウゲンボウ		○				○	○			
40	ハヤブサ			○	○	○	○	○	○		

表 10 (2) 鳥類確認種目録 (第 1 回～第 5 回)

No.	種名	調査時期									
		第 1 回 (H27 夏～ H28 春)		第 2 回 (H28 秋～ H29 夏)		第 3 回 (H29 秋～ H30 夏)		第 4 回 (H30 秋～ H31/R1 夏)		第 5 回 (R1 秋～ R2 冬)	
		東島	西島	東島	西島	東島	西島	東島	西島	東島	西島
41	モズ			○	○	○	○	○	○	○	○
42	カケス				○						
43	オナガ			○	○	○	○				
44	ハシブトガラス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
45	シジュウカラ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
46	ヒバリ						○				
47	ツバメ	○	○	○	○	○	○	○	○		
48	ヒヨドリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
49	ウグイス	○	○	○	○	○	○	○		○	○
50	オオムシクイ								○		
51	メジロ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
52	オオヨシキリ			○		○					
53	ムクドリ	○	○	○	○	○	○		○	○	○
54	コムクドリ				○	○					
55	シロハラ	○	○	○	○						
56	アカハラ	○			○			○			
57	ツグミ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
58	ジョウビタキ	○		○	○	○	○	○	○	○	○
59	イソヒヨドリ	○	○		○		○		○		○
60	キビタキ	○				○					
61	スズメ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
62	キセキレイ			○							
63	ハクセキレイ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
64	セグロセキレイ				○						
65	タヒバリ						○				○
66	カワラヒワ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
67	シメ							○			
68	ホオジロ	○		○	○			○			
69	アオジ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
70	オオジュリン			○						○	
71	ドバト	○	○					○			
合計	71 種	41 種	40 種	44 種	47 種	42 種	45 種	38 種	38 種	34 種	32 種
		47 種		53 種		51 種		47 種		38 種	

 <p>オカヨシガモ</p>	 <p>ヒドリガモ</p>
 <p>オナガガモ</p>	 <p>ホシハジロ</p>
 <p>スズガモ(重要種)</p>	 <p>ウミアイサ(重要種)</p>
 <p>カンムリカイツブリ(重要種)</p>	 <p>ハジロカイツブリ</p>
 <p>カワウ(親鳥と雛)</p>	 <p>オオバン(重要種)</p>

写真 2 (1) 鳥の島で確認された主な鳥類

 <p>イソシギ(重要種)</p>	 <p>ユリカモメ</p>
 <p>セグロカモメ</p>	 <p>ハイタカ(重要種)</p>
 <p>シジュウカラ(桜で採餌)</p>	 <p>ヒヨドリ(桜で採餌)</p>
 <p>ツグミ</p>	 <p>イソヒヨドリ(重要種)</p>
 <p>タヒバリ</p>	 <p>アオジ</p>

写真 2 (2) 鳥の島で確認された主な鳥類